

## 実践記録編

### 「まだ、実践記録を書き始められない方へ」

#### メモを取ってみませんか

研修会の講演内容を、これまでより、もう少し細かくメモを取ってみませんか。

日常の業務の中で「これは」と思ったことを、忘れないようにメモを取ってみませんか。

メモ帳は何でもいいと思いますが、大学ノートも結構いいですよ。まずは一週間続けてみましょう。

#### 復習は 2 時間がいいという提案

ノーベル医学・生理学賞の受賞者 京都大学教授の  
山中伸弥さんが、

「一番効果のある復習の時間は学んでから 2 時間」と、  
提案されていました。なかなか難しいですが、意識してみたら  
いいかもしれませんね。

#### 同僚や支部の友などでJPALSを作るという提案

仲間が集まれば、お互いに知恵と秘訣が行き交います。

自分のとっておきの「ファイル」ができます。

あなたの「大辞典」ができます。

きっと、毎日開いて見たくなりますよ。

JPALS のログインページで、JPALS-ID とパスワードを入れて、  
システムに入りますよ。

# JPALS 日本薬剤師会 生涯学習支援システム

システムからのメッセージ  
2013/03/16  
Webテストの受験が可能です。受験される方は[こちら](#)。

## 日本薬剤師会からのお知らせ

- 2013/03/18 **NEW** [「田薬」過渡的認定\(クリニカルダグレベル\)の申請受付期間延長について](#)
- 2013/03/16 **NEW** [「田薬」Webテストが実施されました～クリニカルダグレベルから3への昇格テスト～](#)
- 2013/03/05 **NEW** [「田薬」Evernote のパスワードリセットについて](#)
- 2013/01/29 **NEW** [「田薬」実践記録\(ポートフォリオ\)の各年度内提出本数について](#)
- 2012/04/20 [「田薬」日本薬剤師会会員でない方\(一般ユーザー\)が過渡的認定を申し込むまでの手順について](#)

## あなたのプロフェッショナルスタンダード ヘルプ

全体比較 | 同レベル比較

JPALSの活用方法

- 計画
- 実践記録**
- PS学習状況
- プレチェック
- CLレベル別PS一覧
- 領域別PS一覧
- 書籍等での自己学習例

あなたへお勧めする研修eラーニング

Norton

「計画」も「プレチェック」もあとにして、最初に「実践記録」をクリックしましょう。

# JPALS 日本薬剤師会 生涯学習支援システム

HOME > 実践

## 実践記録

「実践を記録する」をクリックすると、実践した学習の記録を登録できます。

**実践を記録する**

形式別で表示 | 時系列で表示

登録済みの実践記録は 研修形式、学習期間、登録状況、キーワードを設定して検索することができます。また、登録状況にて日本薬剤師会提出を選択すると、日本薬剤師会提出年を指定し、検索することができます。登録済みの実践記録の編集が可能です。一覧に表示の実践記録のタイトルをクリックすると実践記録の確認画面が表示されます。編集対象の実践記録かどうか確認の上、「編集する」ボタンをクリックしてください。

ポートフォリオ

- 計画
- 実践記録**
- PS学習状況
- プレチェック

サービス一覧

総件数: 51件

研修形式	学習日	提出年月日	タイトル
	2013/02/26~2013/02/27	2013/03/15	<a href="#">研修課題名</a>
	2013/02/25		<a href="#">〈自分用〉nitivaku</a>
	2013/02/08	2013/02/25	<a href="#">ハイリスク薬 抗てんかん薬における薬学的…</a>

「実践を記録する」をクリックしましょう。

# STEP1 「実践記録を行う」

HOME > 実践記録

日本薬剤師会 会員さん  
会員  
前回ログイン日時  
2013/03/22 16:25  
あなたのキャリアラダー  
レベル1

ポートフォリオ

- > 計画
- > 実践記録
- > PS学習状況
- > プレチェック

サービス一覧

- > HOME
- > ご利用ガイド
- > Myノート

**STEP1 実践記録を行う**

**STEP2 PS登録を行う**

**STEP3 確認・日報へ提出**

**STEP4 実践記録完了**

**実践記録**

実践した学習の記録を入力します。  
画面上部と下部の「STEP2」、「STEP3」ボタンをクリックすると当該の画面へ移動します。本操作をおこなうと実践記録は自動保存されます。

「※」は必須項目です。  
日本薬剤師会へ提出する場合、「この研修のまとめ」は200文字以上記載してください。  
(2013年2月以前にご提出済みのものについては、200文字に満たずとも、そのままでも結構です。)

計画	計画を選択 研修会 JPALS研修会コードが設定されている場合は、『研修会』を選択してください。 情報が自動入力された後に、他の研修形式に修正できません
研修形式※【必須項目】	<input checked="" type="radio"/> 利用しない <input type="radio"/> 利用する
JPALS研修会コード※【必須項目】	
研修会課題名※【必須項目】	
学習時間	時間 半角数字・小数第2位まで
受講年月日※【必須項目】	---年--月--日～ ---年--月--日
場所※【必須項目】	
研修会主催者※【必須項目】	
研修内容 (議題・講者など)※【必須項目】	
この研修のまとめ(例:学んだ言葉、内容を理解できたものと、よく理解できなかったものに整理する等)※【必須項目】	日本薬剤師会提出は200文字以上 入力文字数:0文字
学習内容で実践活用が出来た内容【自由記載】 学習が実践活用出来た内容【自由記載】	
学習目標達成できなかった項目 今後の学習が必要な項目【自由記載】	

左図は、実践記録のSTEP1の画面です。

あなたのメモの内容を「実践記録」の欄に入力していきましょう。  
メモ書きのまま、どんどん入力していいのです。  
そのうち、もう少し詳しく書きたくなってきます。

次ページから、詳しくご説明します。

# ○詳しく見てみましょう



HOME > 実践記録

日本薬剤師会 会員さん  
会員  
前回ログイン日時  
2013/03/22 16:25  
あなたのクリニカルダー

レベル1



## 実践記録

実践した学習の記録を入力します。

画面上部と下部の「STEP2」、「STEP3」ボタンをクリックすると当該の画面へ移動します。本操作を記録は自動保存されます。

「※」は必須項目です。

日本薬剤師会へ提出する場合、「この研修のまとめ」は200文字以上記載してください。  
(2013年2月以前にご提出済みのものについては、200文字に満たずとも)

### 計画

計画を選択

研修会

JPALS研修会コードが設定されている場合は、『研修会』を選択してください。

情報が自動入力された後に、他の研修形

研修形式※【必須項目】

JPALS研修会コード※【必須項目】

利用しない

利用する

研修会課題名※【必須項目】

学習時間

時間

半角数字小数第2位まで

今回の学習について  
計画を立ててあった  
場合は、その計画と  
紐づけて記録すること  
ができます。

JPALS 研修会コードがある  
場合は、「利用する」を選択  
します。

コードを入力し、「自動出力」  
をクリックすると、研修会の  
場所や主催者等のデータが  
自動的に入力されます。  
(コードを利用せず、一つづ  
つ入力しても結構です。)



<p>この研修のまとめ(例:学んだ言葉、内容を理解できたものと、よく理解できなかったものに整理する等)※【必須項目】</p> <p>日本薬剤師会提出は200文字以上</p> <p>入力文字数:0文字</p>	<p>①</p>
<p>学習内容で実践活用が出来そうな例 学習が実践活用出来た内容【自由記載】</p>	<p>②</p>
<p>学習目標達成できなかった項目 今後の学習が必要な項目【自由記載】</p>	<p>③</p>

ここで文字数の確認ができます。

### ①自分の学習ノートです。

学んだ事、理解できたこと、理解できなかったこと、思いのまま自由に記入しましょう。

#### 【記入のヒント】

- ・内容のまとめ
- ・演者の意見に「賛成」「反対」「納得」の内容。
- ・「反対」の場合、その根拠や理由。
- ・自分の意見や発想も。
- ・疑問点や不明な語句。
- ・学習中に他の文献で調べたこと。
- ・スモールグループディスカッションで話し合った内容や私見、共感。

### ②実践活用ができそうな例、できた例があれば、学習したことを照らし合わせ、活用の場面を予想して記入してみましよう。

#### 【記入のヒント】

研修会后しばらくたって、実際に学習の効果があつた場合は、その研修会の実践記録(ポートフォリオ)を編集して追加記録を行います。

### ③目標達成できなかったこと、今後、学習が必要なことがあれば記入しておきましょう。

記入が終わったらSTEP2へ進むことで、STEP1で入力した内容は自動保存されます。

(※必須項目への入力を忘れないようにしましょう。)

## STEP2 「PS 登録を行う」

画面の上部では、今回の学習内容に該当するPSを絞り込むことができます。

- ・領域(1~5、全て)
- ・学習(学習した・していない、全て)
- ・CLレベル(1~5、全て)
- ・キーワード等

STEP1  
実践記録を  
行う

STEP2  
PS登録を  
行う

STEP3  
確認・日報へ  
提出

STEP4  
実践記録  
完了

実践編集

画面上部と下部の「STEP1」、「STEP3」ボタンをクリックすると当該の画面へ移動します。本操作をおこなうとチェックした実践記録は自動保存されます。

PS 383項目の中から下の画面に表示するPSを絞り込むことができます。

全て (25/30/383)

領域 ?

CLレベル レベル1

学習 全て

キーワード

検索

ソート順 No(昇順)

絞り込みが終わったら、検索ボタンをクリックすると、画面の下に、絞り込んだPSが表示されます。(次ページ参照)

キーワードとは? :

今回の学習内容に関わる言葉、例えば「糖尿病」「骨粗鬆症」などの文字を入力すると、その文字に合致するPSを検索することができます。使わなくても結構です。

学習した到達目標にチェックを入れてください。  
 プレチェックの結果は、本画面では表示されません。  
 プレチェックと、本画面で行ったチェックを合わせた結果の最新情報は、「PS学習状況」に反映されます。

最初へ 前へ 1 2 次へ 最後へ

到達目標	CLレベル	学習した	最終学習日付
1-1-1. 医療の担い手として、生涯にわたって自ら学習する大切さを認識できる	1	<input checked="" type="checkbox"/>	2013/03/27
1-1-5. 医療倫理の歴史(ヘルシンキ宣言・ヒポクラテスの誓いなど)を概説できる	1	<input type="checkbox"/>	2012/06/09
1-1-8. 薬剤師倫理規定を概説できる	1	<input type="checkbox"/>	2012/07/20
1-1-9. 薬剤師報酬を概説できる	1	<input type="checkbox"/>	2012/06/09
1-1-11. 医療法第1条の2を概説できる	1	<input type="checkbox"/>	2012/04/20
1-1-12. 薬剤師法第1条について概説できる	1	<input type="checkbox"/>	2012/06/09
1-2-1. 「薬剤師の接遇マニュアル」を概説できる	1	<input type="checkbox"/>	2013/02/26
1-2-3. 「対面話 法例集」を概説できる	1	<input checked="" type="checkbox"/>	2013/02/26
1-2-5. チームワークの重要性を明示して説明できる	1	<input type="checkbox"/>	2013/02/26
2-1-1. 様々な情報源とその特徴について説明できる	1	<input type="checkbox"/>	-
2-1-2. 情報収集に必要な設備について説明できる	1	<input type="checkbox"/>	-
2-1-3. 情報通信機器を利用した文献検索の手順を列挙できる	1	<input type="checkbox"/>	-
2-1-4. 情報通信機器を利用して医薬品に関する最新情報を収集できる	1	<input type="checkbox"/>	2012/07/20
2-1-6. 当該医薬品の最新の添付文書およびインタビューフォームが収集できる	1	<input type="checkbox"/>	2012/07/20
2-1-8. 医療用医薬品と一般用医薬品の違いを説明できる	1	<input type="checkbox"/>	2012/09/14
2-1-40. 代表的な消毒薬を列挙できる	1	<input type="checkbox"/>	-
2-2-1. 一般名に対応する後発医薬品について列挙できる	1	<input type="checkbox"/>	2012/04/01
2-2-123. 経口投与薬物の吸収に影響を与える因子を列挙できる	1	<input type="checkbox"/>	-
2-2-126. 薬物の胎児移行性について説明できる	1	<input type="checkbox"/>	2012/06/09
2-2-130. 薬物の主要排泄経路と排泄様式について説明できる	1	<input type="checkbox"/>	2013/02/08

最初へ 前へ 1 2 次へ 最後へ

実践記録を終了する場合、「保存して終了」ボタンをクリックしてください。  
 実践記録の登録に戻る場合、「STEP IIに戻る」ボタンをクリックしてください。  
 実践記録を確認する場合、「STEP 3へ進む」ボタンをクリックしてください。  
 上記の操作をおこなうとチェックした実践記録は自動保存されます。

今回の学習に該当する PS  
 があれば、チェックします。  
 該当する PS がなければ、  
 何もせず、STEP3(日本薬  
 剤師会への提出画面)へ  
 進みます。

自分用に  
 保存

保存して終了

STEP IIに戻る

STEP 3へ進む

提出画面へ

実践詳細

画面上部と下部の「STEP1」～「STEP3」ボタンをクリックすると当該の画面へ移動します。

計画	
研修形式	自己学習
JPALS研修会コード	利用しない
テーマ	地域包括ケア時代における在宅医・薬局連携戦略
学習時間	1時間
学習日	2013/04/07
場所	自宅
学習方法 (遠隔教育、e-ラーニング、録音等)	web
学習内容	～在宅医療連携下における医療従事者と薬局経営者のコミュニケーション～ 医療法人弘仁会 板倉訪問クリニック 院長 永谷 計 先生 カネマツ薬局 代表取締役 薬剤師・ケアマナ 高橋 真生 先生
この研修のまとめ(例:学んだ言葉、内容を理解できたものと、よく理解できなかったものに整理する等)【200文字以上、必須項目】 入力文字数 230文字	薬局薬剤師にできること、薬局薬剤師に求められていること、 薬剤師の在宅業務を始めるにあたり、不可欠なのが在宅主治医とのコミュニケーションである。 千葉県船橋地区の事例を具体的に取り上げ、在宅医と地域の薬局経営者がいかに共同で在宅に関する研究会を結成し、何を学び、実際の業務を展開していったかについて、深く掘り下げた内容、在宅業務に必要な薬剤師とケアマネジャーの連携の実践につ

実践記録を編集する場合、「編集する」ボタンをクリックしてください。  
 実践記録を削除する場合、「削除」ボタンをクリックしてください。  
 一覧に戻る場合、「戻る」ボタンをクリックしてください。

戻る 編集する 削除

日本薬剤師会に提出しない場合は、「保存して終了」ボタンを押すと、「実践詳細」という画面が表示されます。

この時にはすでに「(自分用)」に保存されています。

更に編集する場合は「編集する」ボタン、削除したい場合は「削除」ボタン、実践記録の一覧に戻る場合は「戻る」ボタンを押します。

# STEP3 「確認・日薬へ提出」

**実践編集確認**

画面上部と下部の「STEP1」、「STEP2」ボタンをクリックすると当該の画面へ移動します。  
 実践記録を日本薬剤師会へ提出する場合は、「日本薬剤師会へ提出する」にチェックを入れた後に切り替る「日本薬剤師会へ提出する」ボタンをクリックしてください。  
 (既に「提出済み」のものを編集した場合は、自動で上書き保存されます。)

計画	
研修形式	自己学習
JPALS研修会コード	利用しない
テーマ	地域包括ケア時代における在宅医と薬局の連携について
学習時間	1時間
学習日 複数日可能	2013/04/07
場所	自宅
学習方法 (通信教育、eラーニング、読書等)	web
学習内容	「在宅医療進展下における医療機関と薬局のコミュニケーション」 日薬クリニック 院長 日薬 太郎 先生 四谷薬局 代表取締役 薬剤師・ケアマネ 四谷 花子 先生
この研修のまとめ(例:学んだ言葉、内容を理解できたものと、よく理解できなかったもの) 【必須項目】 入力文字数:213文字	薬局薬剤師にでき、求められていること。 薬剤師の在宅業務を始めるにあたり、不可欠なのが在宅主治医とのコミュニケーションである。 事例を具体的に取り上げ、在宅医と地域の薬局経営者がいかに共同で在宅に関する研究会を結成し、何を学び、実際の業務を展開していったかについて、深く掘り下げた内容。 在宅業務に必要な薬剤師とケアマネジャーの連携の実例についても実例の紹介があり、更に薬局経営者の視点から在宅業務に関する将来展望が紹介された。
学習内容で実践活用が出来そうな例 学習が実践活用出来た内容【自由記載】	なかなか会えないケアマネに担当患者さんの服薬状況を毎回お知らせする。 「薬情」と薬力レンダの写真をお届けすることからはじめたらできそうである。
学習目標達成できなかった項目 今後の学習が必要な項目【自由記載】	退院時カンファレンスの機会がないが、こまめに医療機関に顔を出す。担当患者さんが入院したら、そこから病院との関わりを持つ。

文字カウンターの数、内容を確認します。

領域やレベルで絞り込み、STEP2の「PS登録」でチェックしたPSを確認することができます。

**PS確認**

領域 全て(25/30/383) ? GLレベル 全て

検索

全て

最初へ 前へ 1次へ 最後へ

到達目標	GLレベル
2-3-1. 患者とのコミュニケーションを通して、不適切な服薬状況を見出せる	3
2-3-3. 患者とのコミュニケーションを通して、不適切な薬理効果を見出せる	4
2-3-4. 患者とのコミュニケーションを通して、副作用発現の兆候を見出せる	4
2-3-5. 患者とのコミュニケーションを通して、薬物相互作用の兆候を見出せる	4

最初へ 前へ 1次へ 最後へ

日本薬剤師会へ提出する ?

実践記録一覧へ STEP2に戻る **STEP1に戻る**

今回の実践記録の内容でよければ、「日本薬剤師会へ提出する」にチェックを入れます。

チェックを入れると、「STEP1に戻る」ボタンから、「日本薬剤師会へ提出する」ボタンに変わります。提出する場合はクリックし、下記メッセージが出たら、「OK」をクリックします。

日本薬剤師会へ提出する ?

実践記録一覧へ STEP2に戻る **日本薬剤師会へ提出する**

Web ページからのメッセージ

? 日本薬剤師会へ提出します。宜しいでしょうか。

OK キャンセル

## STEP4 「実践記録完了」

日本薬剤師会に提出すると、上記の画面になります。「実践登録一覧へ」ボタンを押すと、実践記録の最初のページに戻ります。

タイトル欄には、STEP1 で入力した課題名やテーマなどが表示されます。

STEP2 で「保存して終了」にした実践記録は、タイトルの欄に「(自分用)」と表示されます。

STEP3 まで進み、日本薬剤師会に提出した実践記録は、提出年月日の欄に提出した年月日が表示されます。

研修形式	学習日	提出年月日	タイトル
研修会	2013/02/26~2013/02/27	2013/03/15	<a href="#">研修課題名</a> (自分用) ni'yaku
	2013/02/25	2013/02/25	<a href="#">ハイリスク薬 抗てんかん剤における薬学的...</a> (自分用) 実践記録画像検証
	2013/01/01~2013/01/02	2013/03/06	aaaa
	2013/01/01~2013/01/02		<a href="#">&gt;&gt; その他の実践記録を見る</a>
セミナー	2012/04/29~2013/03/04	2013/03/15	<a href="#">123</a> (自分用) Fマークの基礎
	2012/04/01		(自分用) Fマークの基礎 win8 test
	2012/04/01		(自分用) Fマーク基礎
自己学習	2012/11/30	2013/04/08	(1) 薬剤イベント モニタリング (DEM... (自分用) 自己学習5
	2012/04/06		(自分用) 自己学習5
	2012/04/06		(自分用) 自己学習4
	2012/04/03		(自分用) 自己学習3
学術大会・学会	2012/10/08	2013/03/15	第45回日本薬剤師会学術大会 ディベート (自分用) FAPA2012
	2012/08/14~2012/09/16		

(自分用)に保存されている実践記録のタイトルをクリックして開き、「編集」ボタンを押せば、追記、修正をした後、STEP3 に進んで提出することができます。

すでに提出した実践記録も呼び出せば、追記、修正後、STEP3 に進むことで上書き(自動)ができます。このように再編集の場合は、「日本薬剤師会に提出する」ボタンは表示されません。